

17 高気圧酸素治療に於ける耳痛について

吉田泰行¹⁾ 大嶋秀一²⁾ 中澤照夫²⁾

中田瑛浩³⁾

1)	千葉徳洲会病院	耳鼻咽喉科
2)	同	脳神経外科
3)	同	泌尿器科

【目的】

高気圧酸素治療の副作用として耳痛がある。そのため時として治療を中断しなければならない事もある。そのメカニズムは耳管の機能不全による中耳腔の気圧外傷と言われているが、頻度に関する報告はあまり見かけない。またその予防や事前に予知する検査法等は未だ確定的なものはないのが現状である。しかし高気圧酸素治療の現場では、耳痛のため治療を中止したり、治療上のトラブルとなる事もある。

演者は以前、第二種装置に於ける気圧外傷としての滲出性中耳炎について、発生の頻度を調べ、あらかじめ高気圧酸素治療前に予測できないか、チンパノメトリー等の耳科学的機能検査を用いて検討したことがあるが、事前に予知することはできないという結果を得ていた。施設を変わって第一種装置に従事するようになって、第二種装置より耳痛の発生が多いという印象を持っていた為、その頻度を調査してみた。

【方法】

対象は当院において、第一種装置にて高気圧酸素治療を行った患者であり、その内訳は、主として脳血管障害にて脳神経外科入院中の症例であった。調査期間は平成17年1月1日以降治療を開始し、6月30日迄に終了した76例であった。また殆どの対象が耳鼻咽喉科症例ではなかったので耳管機能検査等は行っていない。

【結果】

調査対象のうち45例に何らかの形で耳痛の訴えがあった。また耳痛の発生の状況は、治療開始の初回・2回目に多いという興味有る傾向が認められたのでここに報告する。

18 間歇型一酸化炭素中毒は高気圧酸素治療で予防できるか?

三谷昌光 八木博司

(八木厚生会 八木病院)

急性一酸化炭素(CO)中毒に対する高気圧酸素治療(HBO)は、その急性期の症状・症候を速やかに改善させる事が出来る理にかなったものである。当院での経験でも急性型は殆ど全て改善し、遷延型への移行はわずか2症例のみであった。問題は間歇型であり、その発症メカニズムは依然として不明であり、一度発症すればHBOといえども治療抵抗性で後遺症を残すことになる。そこで、間歇型を発症させないことが重要となる。HBOに間歇型発症予防効果があるかはevidenceがないが、当院では発症予防の為に、症状・症候消失し、脳波・知能検査が正常化するまでHBOを行う方針をとってきた。しかし、この治療方針に従ったにも拘らず、重症間歇型CO中毒となった3例を経験した。CO暴露時の意識障害強く、気管内挿管され、血清CPK高値の傾向にあり、HBO終了後1～2週後に間歇型発症した。いずれも急性期HBOを終了した後の間歇型発症であり、HBOを続けていれば発症を予防出来たのではないかと、その可能性についての期待が残る。

しかし、今回急性期HBOを続けていたにも拘らず、間歇型CO中毒を発症した一例を経験したので報告する。車の排気ガスによる自殺企図でCO中毒となり、JCS 300で発見された65歳、男性。気管内挿管されてJCS 100で転院、直ちにHBO(2.8 ATA)開始。翌日には意識清明となるも、第3病日HDS-R 22点、脳波徐波化残る為HBO続行。この間、CPK 3348→4338→10250 IU/Lと増加。第16病日異常行動出現を契機に間歇型中毒症状進行し、座位困難で発語なく、摂食障害も加わった。頭部MRI検査では著明な白質病変が、症状よりやや遅れて出現した。

これより、間歇型CO中毒はHBOでは予防できない、と考える。